

受動喫煙と妊娠高血圧



Tanaka, K. et al. Secondhand smoke exposure is associated with the risk of hypertensive disorders of pregnancy: the Japan Environment and Children's Study. *Hypertens Res* 46, 834–844 (2023).

はじめに

妊娠中の喫煙は死産・早産・低出生体重など妊婦自身と胎児・出生児の健康に様々な影響をおよぼします。

しかし、妊娠中の受動喫煙と妊娠高血圧症候群の関連について、日本での大規模なデータはありませんでした。

調査項目：妊娠高血圧

質問票データから、下記を調査しました。

- 妊娠高血圧症候群の診断
血圧 \geq 140/90 mmHg, 出産12週迄に改善
- 調整変数：妊娠時年齢, 飲酒習慣, 食習慣, 塩分摂取量, 世帯収入, 教育歴, 既往歴 (妊娠糖尿病, 妊娠高血圧症候群) など

調査項目：受動喫煙



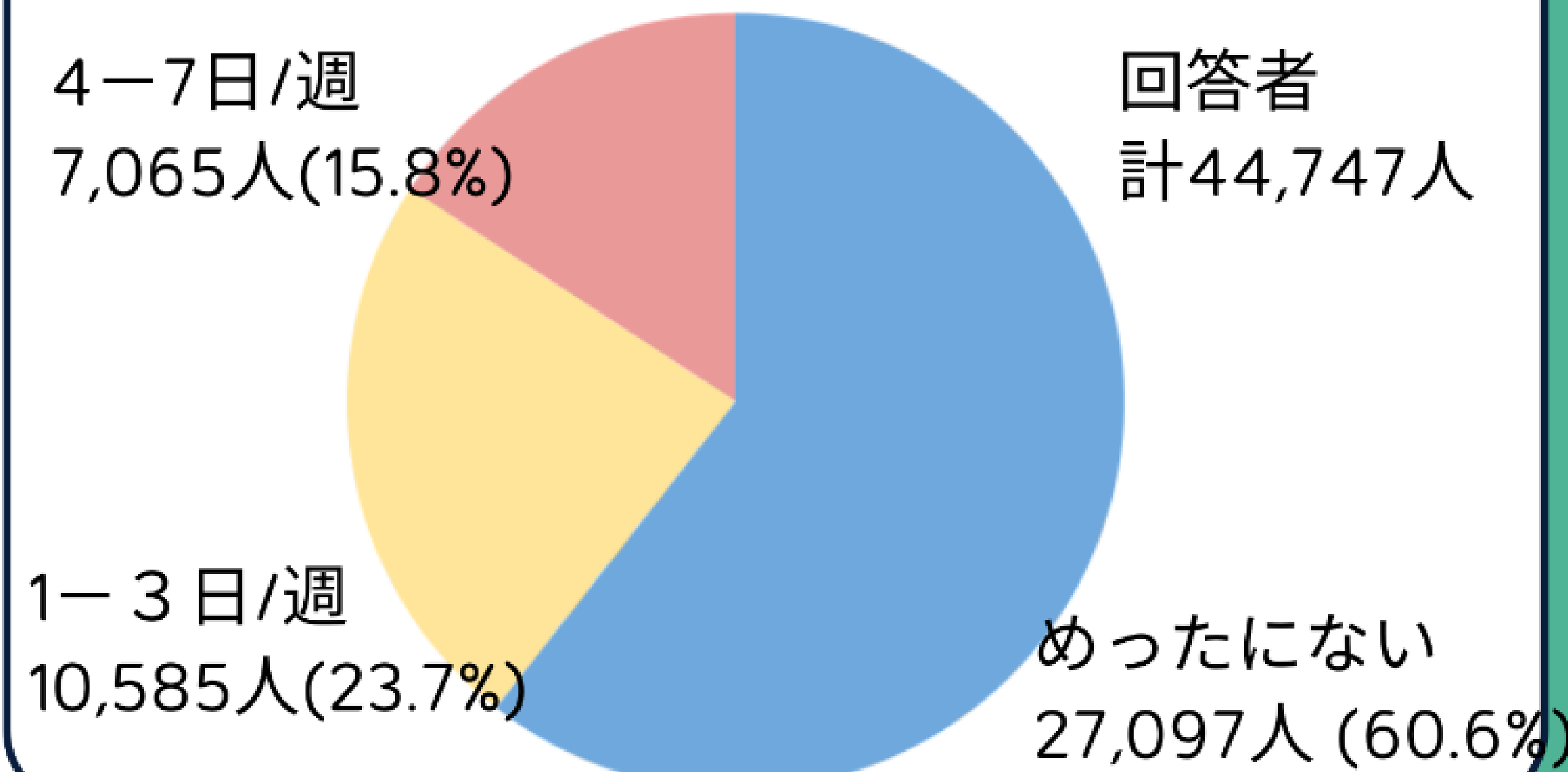
家庭や職場での受動喫煙を以下の2項目に分けて解析しました。

1. 曝露(ばくろ)回数
めったにない・週1-3回・週4-7回
2. 1日の曝露時間
1時間未満・1-2時間未満・2時間以上

研究の目的

エコチル調査から得られたデータを用い、受動喫煙が妊娠高血圧症候群に影響を与えるかどうかについて、調査を行うこと。

妊娠前の受動喫煙への曝露頻度



受動喫煙と妊娠高血圧のリスク

受動喫煙の曝露回数	めったにない	1
1日当たりの曝露時間	1-3日/週	1.148
	4-7日/週	1.346
	<1時間	1
1日当たりの曝露時間	1-2時間	1.489
	>=2時間	1.481

• 妊娠前の受動喫煙への曝露頻度が高く、時間が長いほど妊娠高血圧の発症リスクが高まりました (上表)。

• 曝露がなければ疾患が発症しなかった割合の調査で、受動喫煙は母体自身の喫煙よりも妊娠高血圧症候群に影響する可能性が示唆されました。

今回の研究からわかったこと

妊娠前の母体や周囲の喫煙によって妊娠高血圧のリスクが高まります。皆さんぜひ禁煙を。



[東北医科薬科大学・東北大学プレスリリースリンク](#)